

# 仕様書

## 1、委託業務名

医療系排水処理設備維持管理業務委託

## 2、委託場所

伊勢市楠部町地内

## 3、契約期間

令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

## 4、計画排水量

検査系10.4m<sup>3</sup>/日 + 透析系27.5m<sup>3</sup>/日 + 感染系11.0m<sup>3</sup>/日  
合計48.9m<sup>3</sup>/日

## 5、処理方式

中和処理 + 膜分離活性汚泥方式

流入水質	放流水質
pH 3.0～11.0	pH 5.8～8.6
BOD 920mg/L	BOD 10mg/L
SS 90mg/L	SS 10mg/L
COD 320mg/L	COD 15mg/L
T-N 60mg/L	T-N 10mg/L
T-P 6mg/L	T-P 1mg/L

## 6、業務内容

### (1)保守点検

#### ①保守点検内容は取扱説明書を参照

※取扱説明書については、データ容量の都合上掲載することができませんので、CDにて貸与いたしますので市立伊勢総合病院経営企画課までご連絡ください。

#### ②点検回数 週1回

#### ③水質検査 年6回 内容は(2)に記載

#### ④点検報告書は【別紙1】を使用して下さい。

#### ⑤免震槽(中継ポンプ槽)の点検は隔週で実施して下さい。

#### ⑥その他

・維持管理に必要な薬品、消毒薬剤および消耗品を供給して下さい。また脱臭設備の定期点検、活性炭の取替処分(年2回)、HEPAフィルタの取替処分(年1回)を行って下さい。

これらに要する経費は委託費に含みます。

・バスケットスクリーンに溜まったゴミ、HEPAフィルタ等感染系の廃棄物は専用容器に収納し当院の廃棄物保管庫に運搬する事。

・感染系の設備を点検する場合は感染防止のための感染症対策を行ったうえで点検をして下さい。  
感染症対策に係る費用は委託費に含みます。

・排水処理施設の機械設備、電気設備その他において故障、損耗等が発生している場合、又はそのおそれがある場合は、速やかに報告書を作成して報告して下さい。

その際は対処法についても併せて提案して下さい。

・定期点検のほか、故障等について施設管理者の要請があれば、直ちに技術者を派遣して保守点検を行って下さい。これに要する経費は委託費に含みます。

・本施設は浄化槽と共有の設備がありますが共有部分の緊急対応、修繕、取替は本業務の受託者が行うこと。

・水質監視装置の保守点検、汚泥引抜運搬処分業務は委託業務に含みません。

・免震槽(中継ポンプ槽)の点検を行うには病院内に入っての作業となるため通行する通路、作業時間帯等は管理者に了解を得たうえで実施すること。

来院中の方に迷惑がかからないよう細心の注意を払うこと。

感染系ポンプの点検後に院内を通過する為、感染対策を徹底して下さい。

- ・膜の目詰まり防止のために半年に1回薬液による膜洗浄を行って下さい。
- 1年に1回膜を引き上げて高圧水、ブラシ、スポンジ等で洗浄を行い膜外観の目視点検を行って下さい。  
これらに要する経費は委託に含みます。

薬液洗浄実施予定月                   引上げ洗浄予定月  
9月、3月                                11月

## (2) 水質検査

### 検査項目

- ・水素イオン濃度(PH)
- ・生物化学的酸素要求量(BOD)
- ・化学的酸素要求量(COD)
- ・浮遊物質量(SS)
- ・窒素(T-N)
- ・リン(T-P)

回数 2ヶ月に1回、年6回実施

## 7. 見積方法

年額で見積ること。

## 8. 支払方法

委託料の支払いは、月払いとする。

各月の支払額は、契約金額を月数で除した金額(1円未満の端数については最初の月に含める。)とする。

## 9. 特記事項

- (1) 地方自治法(昭和22年法律第67号)第234条の3の規定による長期継続契約となるため、この契約の締結の日の属する年度の翌年度以降において、当該契約に係る委託者の歳出予算において減額又は削除があった場合、委託者はこの契約を変更し、又は解除することができる。
- (2) この契約において、契約締結日から委託期間の始期を業務の準備期間とするが、この期間は役務の提供を受けないため、費用の支払は生じないものとする。

## 10. その他

本仕様書記載のない事柄については協議のうえ決定します。

# 汚水処理施設運転日報

【別紙1】

業務名		市立伊勢総合病院 医療系排水処理設備維持管理業務委託							担当			
点検日	年月日( )			天候		気温	°C	測定時間				
処理方式		膜分離活性汚泥方式		計画汚水量	48.9 m <sup>3</sup> /日			計画BOD	10 mg/l			
機器類の点検								機能点検				
機器名称	電流値(A)	絶縁抵抗値(MΩ)	運転状況	積算時間	点検箇所		点検項目		状況			
調整ポンプNo.1			良・否	h	共通・槽周辺		周囲全体の状況		良・否			
調整ポンプNo.2			良・否	h					異常な臭気		良・否	
循環ポンプNo.1			良・否	h					破損の有無		有・無	
循環ポンプNo.2			良・否	h					蓋施錠状況の異常		良・否	
処理排水ポンプNo.1			良・否	h					衛生害虫の発生状況		有・無	
処理排水ポンプNo.2			良・否	h					異物・薬剤等の混入		有・無	
返送ポンプ			良・否	h	消毒反応ユニット		攪拌状況		良・否			
自動微細目スクリーンNo.1			良・否	h					pH値			
自動微細目スクリーンNo.2			良・否	h					残留塩素値			
薬品装置(PAC)			良・否						バスケットスクリーンの清掃		実施・不要	
曝気プロワ			良・否						放流電動弁の状況		良・否	
膜プロワ			良・否		流量調整槽		レベルスイッチの状況		良・否			
膜曝気プロワ			良・否						計量槽の状況		良・否	
調整槽プロワ			良・否						移送水量		m <sup>3</sup> /h	
感染系原水槽プロワ			良・否						攪拌状況		良・否	
感染系原水ポンプNo.1			良・否	h	中和槽		攪拌状況		良・否			
感染系原水ポンプNo.2			良・否	h					pH値			
サンプリングポンプ			良・否	h	監観槽		攪拌状況		良・否			
還元剤注入装置			良・否						pH値			
還元剤タンク攪拌機			良・否						攪拌状況		良・否	
硫酸注入装置			良・否		脱窒槽		循環状況		良・否			
硫酸注入装置攪拌機			良・否						汚泥引抜エアーリフトの状況		良・否	
苛性ソーダ注入装置			良・否						ろ紙ろ過試験		ml	
苛性ソーダ注入装置攪拌機			良・否						散気管洗浄		実施・不要	
免震槽(中継ポンプ場)								攪拌状況		良・調整実施		
感染系 中継槽1 No.1			良・否	h	汚泥濃縮貯留槽		発泡の有無		有・無			
感染系 中継槽1 No.2			良・否	h					汚泥の堆積状況		小・多	
感染系 中継槽2 No.1			良・否	h					汚泥の引き抜き		必要・不要	
感染系 中継槽2 No.2			良・否	h					攪拌装置の状況		良・否	
透析系 中継槽 No.1			良・否	h	薬品タンク	今回残量	前回残量	使用量	補充量			
透析系 中継槽 No.2			良・否	h	消毒剤タンク	L	L	L	L			
緊急透析系 中継槽 No.1			良・否	h	還元剤タンク	L	L	L	L			
緊急透析系 中継槽 No.2			良・否	h	酸タンク	L	L	L	L			
高温計 中継槽 No.1			良・否	h	アルカリタンク	L	L	L	L			
高温計 中継槽 No.2			良・否	h	検査系 中継槽 No.1			良・否	h			
高温計 中継槽 No.3			良・否	h	検査系 中継槽 No.2			良・否	h			
水質点検								圧力計(Mpa)			積算流量計	
流入水	水温 °C	pH	透視度 cm	残留塩素 mg/l	停止時	運転時	差圧	前回				
								今回				
脱窒槽					PAC			流量				
硝化槽			MLSS	DO	-	-	-	日平均値				
			mg/l	mg/l	処理排水ポンプ設置状況							
放流槽					ON 分	OFF 分		処理水量	l/min			
備考												